

作成日: 2019年9月30日(第1版)

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

白河厚生総合病院では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年9月 白河厚生総合病院 小児科 村井弘通

【研究課題名】福島県における小児特発性ネフローゼ症候群の検討

【研究期間】2019年9月(承認後)~2021年3月

【研究の意義・目的】

小児特発性ネフローゼ症候群は、腎臓の糸球体毛細血管障害の結果、尿中に蛋白質がもれでて(高度蛋白尿)、血中の蛋白質が低下(低蛋白血症)し、その結果浮腫を来す疾患です。日本における発症数は10万人あたり4-6人程度と推定されています。ネフローゼ症候群は主としてステロイドによる治療を行い、80-90%程度に効果を認め、尿蛋白が陰性化します。しかし、10-20%にステロイド抵抗性の症例があり、免疫抑制剤や生物学的製剤を併用することがあります。またステロイド治療で一度治っても、再発する症例も60%程度あり、ネフローゼ症候群の中でも経過は様々です。

ネフローゼ症候群の発症者数は地域や人種によっても異なることがわかっており、現在、全国規模のネフローゼ症候群の調査も進んでいます。日本国内の各地域での疫学調査は多くはありません。本研究は福島県内で発症したネフローゼ症候群の患者様の初期症状や検査データ、治療経過を検討することで福島県内におけるネフローゼ症候群患児の発生動向を把握し、初期症状や検査結果からネフローゼ症候群の予後の予測因子を検討します。

【研究の方法】

・研究対象者: 2006年1月から2016年12月までに福島県内で発症した小児特発性ネフローゼ症候群の患者様(下記の<診療情報の提供を行う機関>を受診した方)を対象とします。上記の患者さんの入院時及び経過中の血液検査や各種検査データ、および臨床経過を各病院へのアンケートおよびカルテ記載内容を確認し、そのデータを統計学的手法にて解析します。

【研究組織】

(所属)小児科学講座(職)教授	(氏名)細矢光亮
(所属)小児科学講座(職)講師	(氏名)陶山和秀
(所属)小児科学講座(職)助教	(氏名)小野敦史
(所属)小児科学講座(職)助手	(氏名)前田亮
(所属)小児科学講座(職)助手	(氏名)久米庸平
(所属)小児科学講座(職)助手	(氏名)山根景志

<診療情報の提供を行う機関>

(所属)大原総合病院	(氏名)鈴木重雄
(所属)福島赤十字病院	(氏名)三友正紀
(所属)公立藤田総合病院	(氏名)野沢ルリ子
(所属)医療生協わたり病院	(氏名)北條徹
(所属)寿泉堂総合病院	(氏名)金子真利
(所属)星総合病院	(氏名)佐久間弘子
(所属)太田西ノ内病院	(氏名)生井良幸
(所属)公立岩瀬病院	(氏名)小田慎一

(所属)白河厚生総合病院	(氏名)村井弘通
(所属)竹田総合病院	(氏名)長澤克俊
(所属)公立相馬病院	(氏名)伊藤正樹
(所属)いわき市医療センター	(氏名)鈴木保志朗
(所属)南相馬市立総合病院	(氏名)萩原典之
(所属)県立南会津病院	(氏名)小野貴志
(所属)坂下厚生総合病院	(氏名)青木英子

【他の機関等への試料等の提供について】

なし

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書を交付しますが、交付に係る費用(コピー代等)をご負担いただきます。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

○ 研究内容に関する問い合わせの窓口

〒961-0005

白河厚生総合病院 小児科 村井弘通

電話:0248-22-2211